（大正八年三月七日第三種郵便物認可）

廿三日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
發行
福島縣石城郡平町紺屋町十四
磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

縣下第一の石城郡に土木費の割當が少ない
平監督所で增額運動

縣土木監督所長會議は二十五日二十六日福島市に開かれるが平土木監督所から提出される議案は

一、橋梁架替費增加要求
二、道路局部改良
三、道路橋梁普通修繕費增額配當

で小林所長中里書記が說明の任に當るが、右の內一案は縣の方針によれば橋梁架替は一監督所內一ヶ年橋梁架替一橋乃至二橋で平管內の橋梁數四百六十一橋は二百三十五年かゝらねば全部の架替が不能の狀態で相當豫算增額の必要がある、第三案は平地方の交通狀態は縣下第一の交通頻繁で自動車數三百八十六臺牛馬車數八百五十六臺で道路の故障多いが修繕費が少ないので二十六日福島市に開かれるが平改修に困難を來してゐるので前記の提案をなすに至つたものである。

優良納稅組合
表彰式擧行

平町では來る二十六日午前十時から會議室で昭和六年度優良納稅組合並に管理者の表彰式を行ふが、町で表彰する組合は九十五組合管理者は四町目小野常治氏外四名、尙ほ縣から表彰されるもの新川町組合（管理者風間福榮外十二組、仙臺稅務監督局から表彰されるもの鎌田組合（管理者酒井龍之進）外二組合である。

縣稅滯納の整理至難

縣稅務平出張所管內六年度分滯納額は實に三萬余圓に達しこれが納付督勵中で五月末日までには管內全部の整理處分をすることになつてゐるが、財界不振の現況で容易ならず當局は尠からず惱まされてゐるが殊に前記滯納額中三分の一は自動車、荷車自轉車等諸車稅の滯納で中には荷車の如き廢車屆等の手續きを怠つたゝめ課稅されるものありこれと反對に未屆による脫稅等もあつて一方ならず整理に惱まされてゐるも來る九月三十日までに新しい鑑札に取替へ十月よりは舊鑑札は無効となるから近くそれ〳〵各町村役場へ新鑑札が配布されるのでこれ等不正所持者は一掃されるものと見られてゐる。

平町の國道舗裝
內務省で三十五萬圓を認め
二十二日大藏省に回付す

平町の國道舗裝計劃並に尼子橋鎌田橋の架替は縣に於ても贊成し縣當局に於て過般來工費三十五萬圓を政府に要求中であつたが、內務省では調査の結果必要と認め二十二日省議で三十五萬三千圓の工費を認め大藏省に關係書類を回送した。右工事に使役する人夫は二十七萬九千人で平地方には平水道工事完成により失業者が多數ある折柄失業救濟の意味で前記工事が一日も早く着しされる事を希望し大藏省の通過を鶴首して待つてゐる。

四倉沖に密漁船
警察發動機船で追跡し
漸やく二隻を逮捕す
船長以下四倉署に留置

二十二日午前十時頃四倉海岸沖一海里の禁漁區で漁船四隻が漁業中であるのを四倉署水上係佐藤巡査が發見したので署員數名と共に五馬力の發動機船に乘つて現場に至り密漁船に乘り移り取調べた處漁船は

▲小名濱町字中島五一番地中島重藏所有船重運丸（四十馬力）船長鈴木豊外十名乘組
▲同馬上德次郎所有德丸（四十馬力）船長小野寅吉外十名乘組

外二隻であつたが、二隻は早く逃走したので前記二隻を四倉署に連行兩船長の二十名を四倉署に留置して取調べ中である、尙ほ逃走した二隻の身元も判明したので所轄署に逮捕方を打電した。

▲理髮組合總會　四倉警察署管內二町四ヶ村の理髮業組合總會は五月二日午前九時から四倉署に開き優良徒弟の表彰をなすと。

▲豊間酌婦觀櫻　石城郡豊間村料理屋組合では酌婦三十名と營業主を加え五十余名が二十二日來平觀櫻會を催ほした。

受檢者が減つて
穀物檢査所狼狽
昨年度は僅か一萬俵

平穀物檢査所では移出檢査俵當十錢生產檢査五錢の手數料をとり少なく未檢査のまゝ手放すのが多い、之は手數料運賃その他諸雜費を要しないために最近受檢米が頓に激減し昨六年度中の食米まで手放しつゝあるが强制的に徵收する移出檢査は極めて少なく未檢査のまゝ手放すのが現在農村は不況で財政上困難のため殆んど自家用の結果同夜平驛で發見連れ戻つた。

十九娘猫自殺後報
平窪小町の彼の女は
叔父に情交を迫られた
妻に感付かれたのを悲觀

昨報石城郡平窪村大字上平窪字横山四六金成庄助方同居庄助の姪金成ヤイ子（十九）は二十日午後二時頃自宅で猫イラズをのみ自殺を企て手當の結果一命は取り止めるらしいが、自殺を計つた原因については最初某と戀におち添はれぬのを悲觀した結果と言はれてゐたけれども其筋で取調べた處、次のやうな事實が判明した、

ヤイ子は兩親がなく前記叔父庄助方に厄介になつてゐたものであるが平窪小町と評判されてゐる美人で昨年暮から叔父庄助に目をつけられ遂に情を通ずるに至り今日及んだが最近庄助の妻が兩名の關係を知りヤイ子に辛く當るのでヤイ子は立場に困つた結果毒を仰いで自殺を企たものである。總收穫十六萬二千四百四十九俵中受檢したもの僅か一萬俵內外に過ぎず所員は善後策を講じてゐる。

回春園
看護婦花見

石城郡豊間村縣立回春園看護婦一同は中曾根正平氏引卒の下に二十三日夜上京觀櫻會を催ほし二十四日夜歸園すると。

聽取料寄附金で
回春園改善

大日本放送協會ではラヂオ聽取料の一割を各縣に對し結核豫防施設費として交附する事になつたがその割當は各縣の聽取料の一割で本縣は大体三千余圓なので縣衛生課では早くもこれを當込み右割當交付と同時に回春園の設備を充實し、更に結核相談所並に結核早期診斷所等結核患者に福音な設備を設けるプランをたてゝゐる。

磐城中學—對—平商業
優勝旗爭奪野球戰
本社後援で磐城中學校對平商業學校の優勝旗爭奪野球試合を左の如く擧行す
一、試合は三回戰ごし第一回戰を五月七日午後二時より磐城中學校球場で行ふ
一、優勝校に優勝旗を贈る
優勝旗寄贈者
マルトモ柴田書店
マルカ運動具店
魁文堂書店
後援　磐城時報社

女優生活に憧れ
十七娘が家出

平町人事

平町字古鍛冶町秋元しな姪秋元よね子（十七）は女優生活に憧れ二十二日夕刻現金四十圓拐帶家出したが平署に願ひ出でゝ捜索の結果同夜平驛で發見連れ戻つた。

▲出生
九品寺前小石川區茗荷谷町遠藤宗光長男宗英、下川原町國雅弟金成清保三女幸子、
▲死亡
大工町東京市牛込區神樂町藝妓鈴木キクヨ（二二）

横濱植木株式會社特撰
草花・蔬菜類
優良種子
各種賣出し致しました。
農園藝藥品の御相談は
西村屋藥局
電話三番

かまぼこ製造
儀式用
折詰盛
平町一丁目
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
天藤寅
電話一四一番

優等賞入選
芳醇銘酒
白馬の雪
ハクバノユキ
去る十八日より二十日迄平稅務署に於て開催されたる石城酒造組合主催第十三回清酒喇酒會に於て三点とも最優等賞を得たり。
平町二丁目一一
白馬の雪營業所
辰の口本家　松本德一
話電一五四六營業所　一二八五本店

貸切ノ御用命ハ
ゼヒ　三井自動車部ヘ
乘合は　好間・合戸・澤渡方面行
電話六八五番

和洋銅鐵金物問屋
久　釜屋商店
諸橋久太郎
電話九九九番

ソーダファンテン
生ビール開始
ビンツメでありません
レストラン　サロン
電三五二番

謝恩開店三週年披露
本日より謝恩的値段を以て御禮に替ひます。
カツライス　十五錢　カレイライス　十錢
チキンライス　カツレツ
上酒一本二十錢　肉丼特製十錢
出前迅速
四倉町本町
武田バー
（女給さん數名入用）
電話三二番

吉田眼科病院
平町紺屋町電話六八番

心安積蓄
融通低利
貯蓄ミヤモト
大藏大臣免許
湯本信用無盡會社
電話四七番

胃腸
内科
十二指腸病
虫病
専門
淋病
婦人病
皮膚病
梅毒
松村胃腸科醫院
（電話一〇一）平町南町

大藏大臣免許
共存共榮
誠意堅實
磐城無盡
簡易ノ金融趣味ノ貯蓄
平町電話三七八番

よせなべうどん
初賣
昭博記念として
よせ鍋うどんを初賣いたします
なべは風味よし味よし○安すし
御來客の御馳走に氣うけよし
◎自慢の味と○印を！　どうぞ御試食下さい
御一人前　十五錢
アイスクリーム
（水まめるいも初めました）

例年の通り　自四月十六日　至四月廿六日
マグロデー　鮪なべ　十五錢
山盛さしみ御一人前十五錢・すし　十五錢
山かけ　同　十五錢・鉄火卷十五錢
ドーゾお花見と博覽會見物のお歸りにお立寄下さい
御料理仕出し
鮮魚
折詰御壽司
勿來製氷一手販賣
せ印　魚清食堂
平町二丁目（平警察署通）
魚清氷卸部
電話六三三番
電話四六七番

特産品大賣出し
殊に鰹節大暴落の爲め某製造家より委托販賣を受けましたお土産として一圓の品は必ず二圓に見られます、自家用の御方も此際お買求めが御徳策です、樽數に限り有りますゼヒお早く
本鰹節籠入　壹圓均一
仝　袋入　五十錢均一
次上品　上々品一貫匁　五圓
仝　上品仝　四圓
仝　品仝　三圓
一貫匁賣りは左に
平町三丁目角
元造製ブンデ鯛
あ印
阿部源
電話三〇三番